保証書

食器乾燥器保証書

持込修理

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型　名	EY-SA60
●お客様	お名前　　☎
	ご住所　〒
●お買い上げ日 年　月　日	●販売店名・住所 ☎
保証期間 お買い上げ日より 本体1年	

修理メモ

●印欄に記入のない場合は無効となりますから、必ずご確認ください。

1.ご転居・ご贈答などで、お買い上げ販売店にお申しつけできない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にお申しつけください。
2.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　(イ)使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。
　(ロ)お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
　(ハ)火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、および公害・塩害・ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)などによる故障および損傷。
　(ニ)一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車輌・船舶へのとう載)に使用された場合の故障および損傷。
　(ホ)本書のご提示がない場合。
　(ヘ)本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
　(ト)消耗品などの交換。
3.本書は日本国内においてのみ有効です。
　This warranty is valid only in Japan.
4.本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社

〒530-8511　大阪市北区天満1丁目20番5号　☎(06)6356-2451

愛情点検　長年ご使用の食器乾燥器の点検を！

こんな症状はありませんか
●電源を入れても運転しなかったり、途中で止まったりする
●ご使用中、コード・差込みプラグが異常に熱くなる
●食器乾燥中に異常な音や振動がする
●本体が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする
●その他の異常や故障がある

ご使用中止

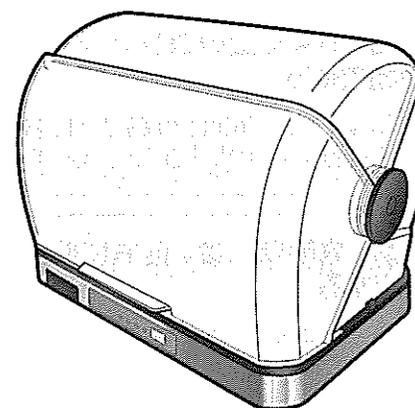
こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。

ZOJIRUSHI

家庭用

食器乾燥器

型名 EY-SA60 型

取扱説明書

●このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保存してください。

保証書つき

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

●ここに表した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
●いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告　取り扱いを誤った場合、死亡または重傷※1を負うことが想定される内容を表します。

注意　取り扱いを誤った場合、傷害※2または物的損害※3の発生が想定される内容を表します。

※1　重傷とは、失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2　傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。

注意　△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な注意内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

禁止　⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。具体的な禁止内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

指示　●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。具体的な指示内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

※3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

⚠警告

分解禁止

改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない

火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の恐れがあります。

禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがをする恐れがあります。

禁止

交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因になります。

禁止

コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

コードを傷つけない

無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

必ず実施

定格15A以上のコンセントを単独で使う

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

必ず実施

異常・故障時には、直ちに使用を中止する

そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>
- コードや差込みプラグが異常に熱い
- コードに深い傷や変形がある
- 電源を入れても動かない
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする
- ビリビリと電気を感じる
- 焦げくさいにおいがする
- 食器乾燥中に異常な音や振動がする　など

このような場合は、すぐに差込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する

⚠注意

接触禁止

使用中、使用直後は内部が熱いので触らない

やけどの恐れがあります。

禁止

ガスコンロなどの炎や熱気のあたる場所に置かない

火災の原因になります。

禁止

フィルターをはずしたまま運転しない

吸気口からほこりが入り、火災の原因になります。

差込みプラグを抜く

使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く

けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

必ず実施

差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く

感電やショートして発火することがあります。

お願い

食器かごを使わずに食器を乾燥させない　変形・火災の原因になります。

傾いたところでは使用しない

乾燥不良や排水不良の原因になります。

付属の食器かご以外のものは使用しない

故障・変形・変色の原因になります。

漆器、熱に弱い樹脂製や銀製の食器類、厚さの変化の大きいカットグラスなどは入れない

食器類の変形・変色・破損の原因になります。

ふたセット（前ふた・中ふた・後ふた）を落としたり、かたいものにぶつけたりしない

けがをする恐れがあります。

ふたや排気口にふきんなどをのせない

故障・変形の原因になります。

吸気口・排気口はふさがない

故障・変形や乾燥効率低下の原因になります。

温風吹出口に物や水を入れない　また温風吹出口を食器などでふさがない

故障・変形や乾燥効率低下の原因になります。

フィルターのお手入れはこまめに行う

フィルターが目詰まりすると、本体の故障や乾燥効率低下の原因になります。
1カ月に1回程度がお手入れの目やすです。

各部のなまえ

●お買い上げの商品とこの取扱説明書に記載されているイラストは異なることがあります。

はし立て

食器かご

付属品　排水ホース

ふたセット

排気口

温風吹出口

本体

トレー
●取り出してお手入れできます。→P.14

コード

水受け

結束バンド
●使用の際にはコードを束ねている結束バンドをはずしてください。
●コードは束ねて使用しないでください。（コードが熱くなり、故障の原因になります。）

操作部

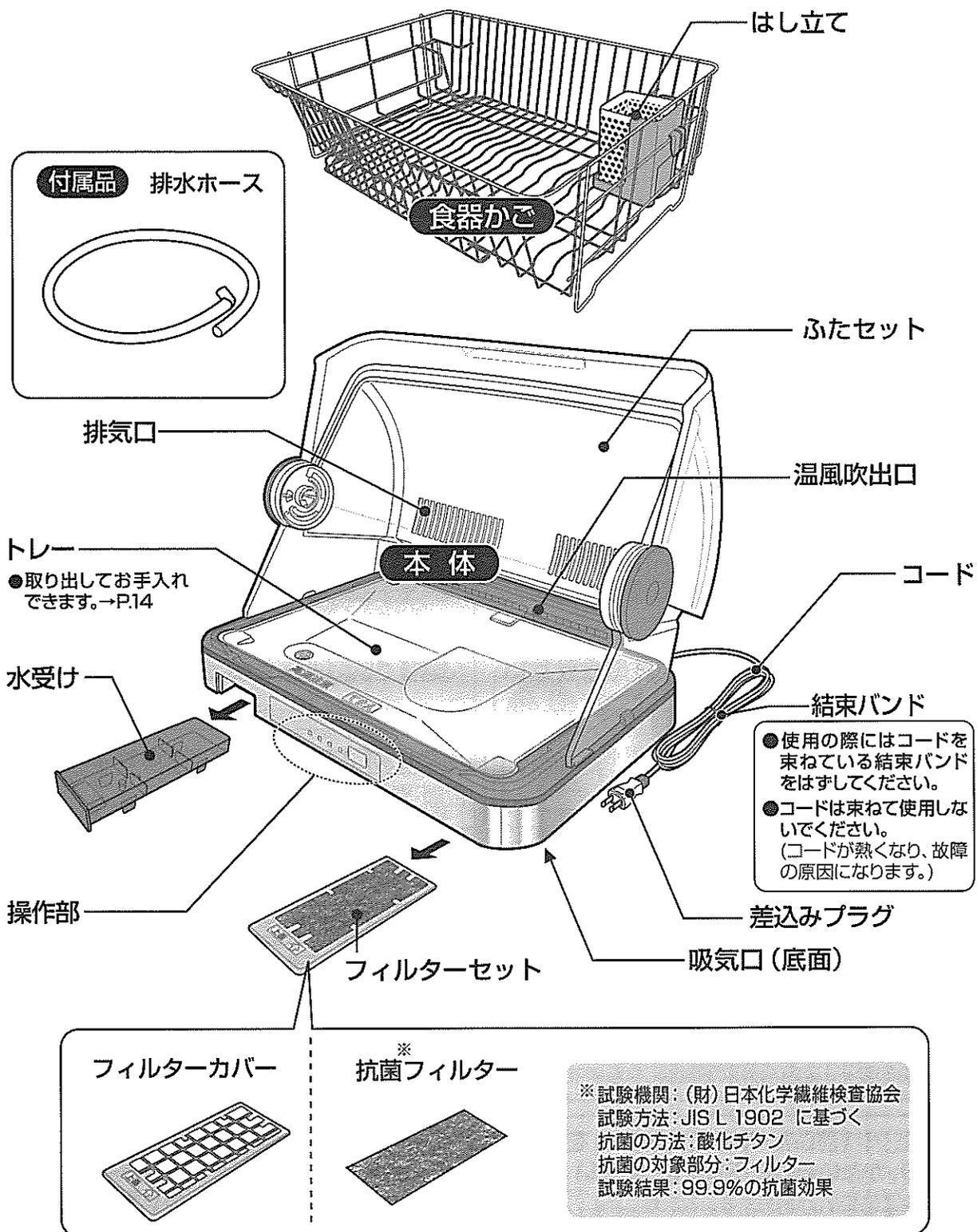
差込みプラグ

フィルターセット

吸気口（底面）

フィルターカバー

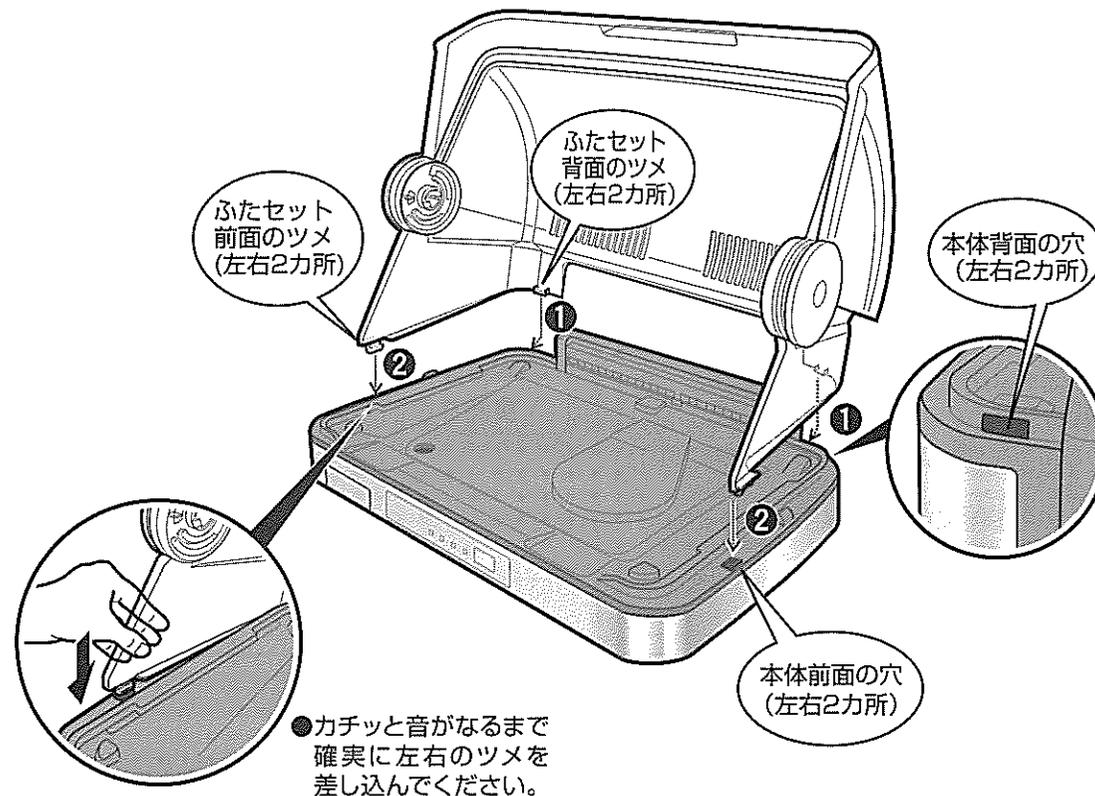
※抗菌フィルター

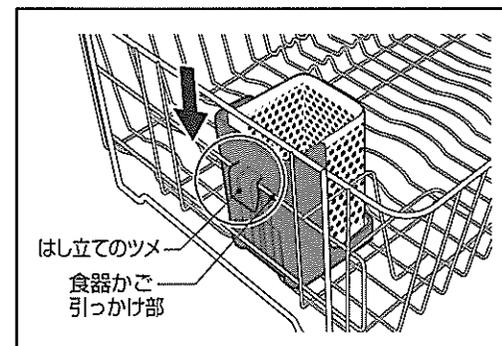
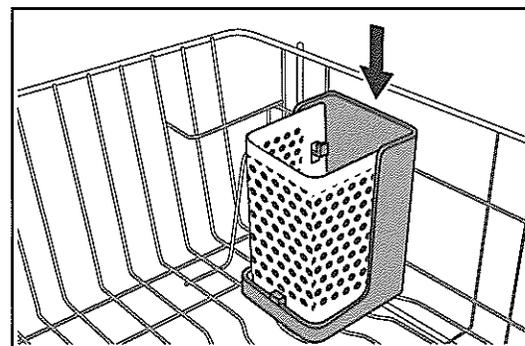
※試験機関：（財）日本化学繊維検査協会
試験方法：JIS L 1902 に基づく
抗菌の方法：酸化チタン
抗菌の対象部分：フィルター
試験結果：99.9%の抗菌効果

お使いになる前に ●お使いになる前に梱包材を取り除いてください。

1.ふたセットを本体に取りつける

●ふたセットの分解/組み立て時は、落としたり、かたいものにぶつけたりしないよう注意してください。

❶ **ふたセット背面のツメ**(2カ所)を**本体背面の穴**に差し込む

❷ **ふたセット前面のツメ**(2カ所)を**本体前面の穴**に上から差し込む

2.はし立てを食器かごに取りつける

はし立てのツメを食器かご引っかけ部に引っかける

3.食器かごをのせる

■まな板を手前に入れるとき

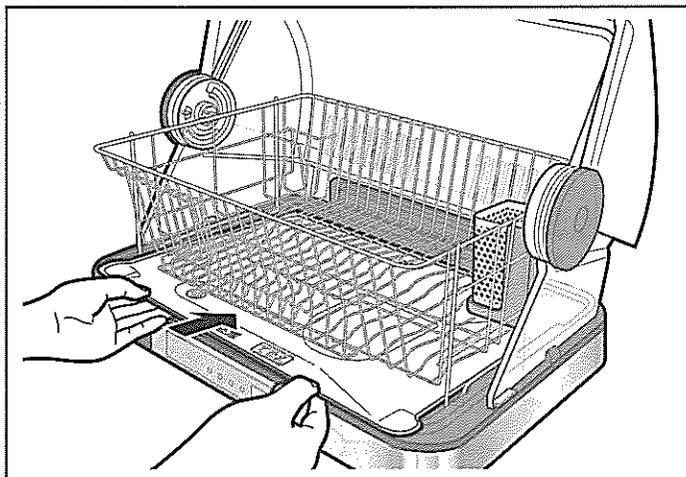
■まな板を奥に入れるとき

本体手前の凹部（2カ所）に
食器かご前方脚部を合わせる

●本体のふちに乗り上げないように
きっちりとのせてください。
（ふた開閉時にふたにすり傷がつく原因）

●市販の食器かごは使用しないでください。
（故障・変形の原因）

4.トレーを入れる

トレーを本体と食器かごの間に入れる

●本体のふちに乗り上げないようにきっちりと入れてください。

●トレーは食器かごをのせたまま、取り出すことができます。

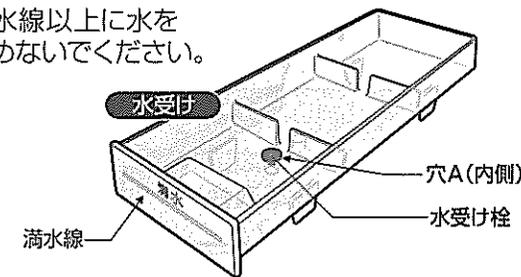
●トレーを取り出す際は、食器・食器かごへの引っかかりに注意してください。食器の置き方によっては、トレーを取り出す際に引っかかり、食器が傷ついたり、破損する原因になります。

■排水方法について

排水ホースを使用しない場合

水受けにたまった水を毎回ご使用後にすてる

●水受け栓が穴A（内側）に確実に取りつけられていることを確認してください。

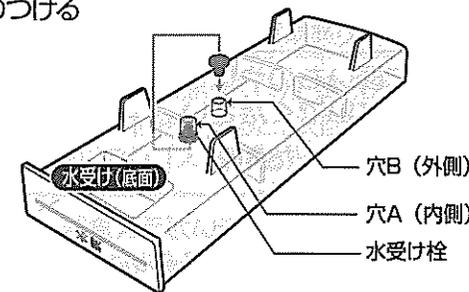
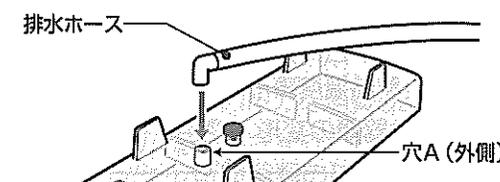
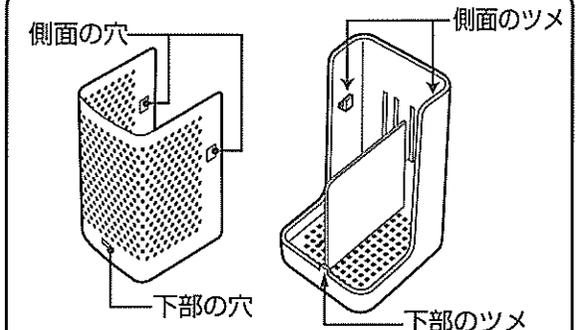
●満水線以上に水をためないでください。

排水ホースを使用する場合

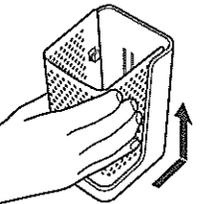
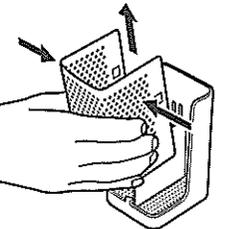
排水ホースを取りつけて、排水ホースの先を流し台のシンクにたらす
（水受けにたまった水をすてる手間がはぶけます。）

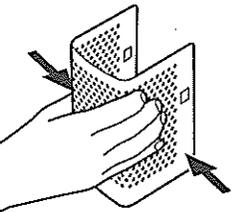
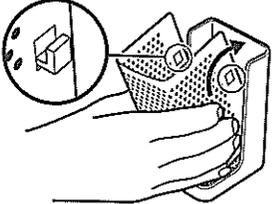
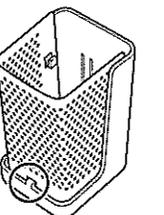
●排水ホースを確実に取りつけてください。

●排水ホースを途中で折り曲げたり、製品の脚でふみつぶさないように取りつけてください。
（排水ホースから水が流れにくくなり、水受けから水があふれる恐れがあります。）

排水ホースの取りつけ方

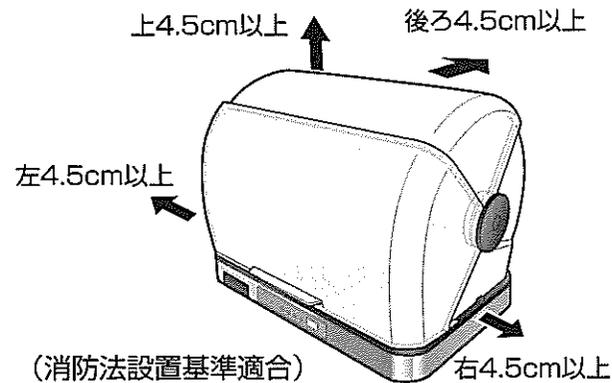
①水受け栓を穴A（内側）からはずし、穴B（外側）に取りつける

②穴A（外側）に排水ホースを取りつける

■はし立ての分解・組み立て

分解

①ステンレス部側面を持ち、奥に押しながら、下部のツメをはずす

②ステンレス部側面を内側に押しながら上へ持ち上げ、側面のツメをはずす

組み立て

①ステンレス部側面を指で押さえる

②図のように両側のツメをはめる

③下部のツメを下の穴に差し込む

使い方

●初めてお使いになる前に、トレー・ふたを乾いた柔らかい布でふいてください。また、食器かご・はし立ては、水洗いして乾燥させてください。
●使いはじめに少しにおいが出ることがありますが、異常ではありません。

設置場所について

•壁や燃えやすいもの（可燃物）から、右図の距離を離して設置してください。
•製品の前面は、開放してください。
•平らな場所に設置してください。

●油の付着しやすい場所に設置しないでください。

（消防法設置基準適合）

1 食器を入れ、ふたを閉める

①食器の水をよく切り、倒れないように並べる（P.10〜11参照）
②ふたを閉める

◆早く乾燥させるコツ◆

★食器と食器の間を少しあけて、温風の流れを良くする
★食器を湯で洗ってから入れる
★食器（特に糸じり）はよく水を切ってから入れる

ご注意

食器を乾燥させるときは、必ず食器かごに入れてください。（変形・火災の原因）

包丁は入れないでください。（けがの原因）

食器を入れた状態での食器かごの出し入れや、持ち運びはしないでください。（けがや食器かごの変形・破損の原因）

食器は入れ過ぎないでください。（食器かごの変形・破損や乾燥効率低下の原因）

食器を入れるときは、食器で温風吹出口をふさがないでください。（変形・故障の原因）

ふたは確実に閉めてください。（乾燥効率低下の原因）

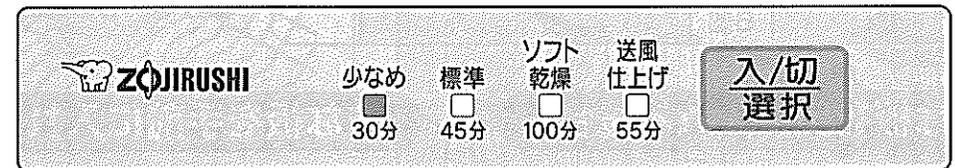
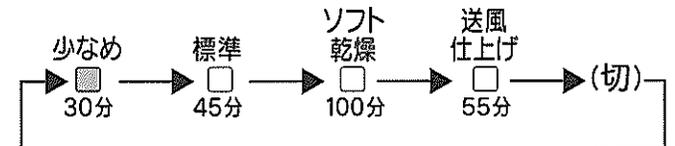
ふたの上にふきんなどをのせないでください。（変形・故障の原因）

食器はきれいに洗ってから入れてください。（においや乾燥効率低下の原因）

熱に弱いものや以下の食器などは入れないでください。
•ひびの入った食器
•漆塗りの食器
•厚さの変化の大きいガラス食器
　カットグラス・クリスタルなど
•銀製の食器など
•熱に弱い樹脂製食器など
　耐熱温度90℃以下のもの
　（ソフト乾燥コースを除く）
　スチロール製のもの
　耐熱温度表示のないもの
（食器類の変形・変色・破損の原因）

2 差込みプラグをコンセントに差し込む

3 入/切 選択 を押す（乾燥を開始）

●少なめランプが点灯します。

キーを押すたびに運転ランプが移動し、乾燥コースが切りかわります。

乾燥コース	運転時間	こんなときに
少なめ	30分	食器量が少ないときや食器をあたためるとき
標準	45分	標準食器量（6人分）のとき
ソフト乾燥	100分	熱に弱い樹脂製食器（耐熱温度60℃以上）の乾燥のとき
送風仕上げ	55分	夏場など、暑いときの省エネ運転に（25分の乾燥後にヒーターを切り、30分送風仕上げをします。）

●耐熱温度90℃以下の熱に弱い樹脂製食器は、ソフト乾燥コース以外で使用しないでください。（変形・変色・破損の恐れがあります。）

●室温や湿度、食器の入れ方・量・形状によって、乾燥しにくいことがあります。
●乾燥コースを変更すると、次回運転時からは変更した乾燥コースで運転します。ただし、差込みプラグを抜いたり、「入/切/選択」キーを押して乾燥を終了すると初期設定（少なめコース）に戻ります。

4 乾燥終了後

●乾燥中や乾燥後（約30分）は、食器類や食器かご・温風吹出口・はし立て・トレーなどが熱くなっていますので、やけどに注意してください。

●乾燥が不足しているときは、追加乾燥をしてください。
●乾燥終了後、長期間使用しない場合は、差込みプラグを抜いてください。（「切」のときでも約1Wの電力を消費します。）
●食器類はまとめて取り出さずひとつずつていねいに取り出してください。（食器類の破損の恐れ）
●排水ホースを使用しない場合は、乾燥終了ごとに水受けにたまった水をすててください。水受けを取り出すときは水がこぼれることがあるため、ゆっくりと引き出してください。
●乾燥終了後、乾燥状態によっては、トレーに水が若干残ることがあります。

食器の入れ方

●食器を乾燥させるときは、必ず食器かごに入れてください。

標準食器の入れ方（6人分）

●下図の番号順に倒れないように並べてください。

標準食器量（6人分）

標準食器（日本電機工業会自主基準による）

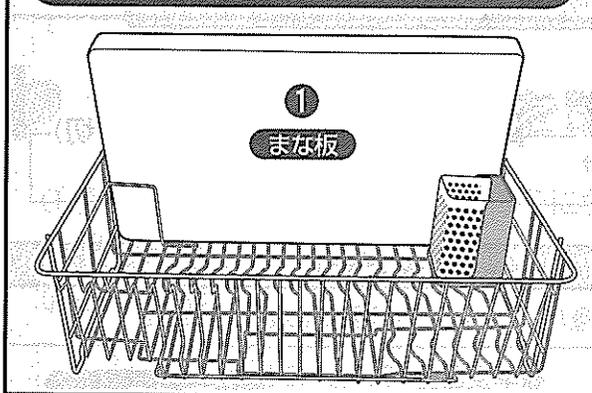
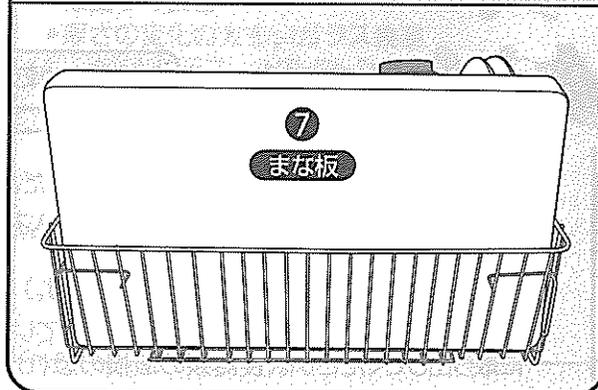
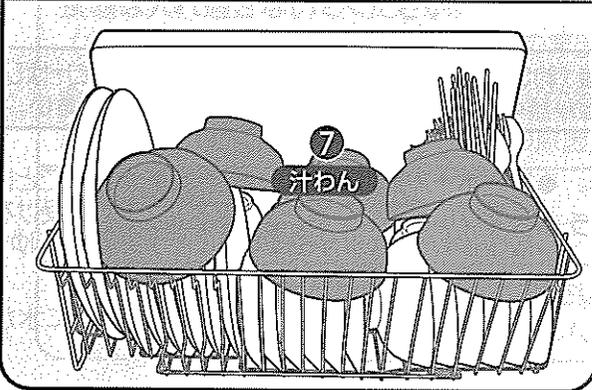
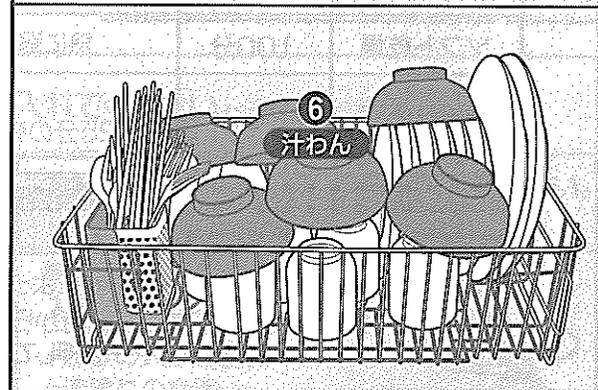
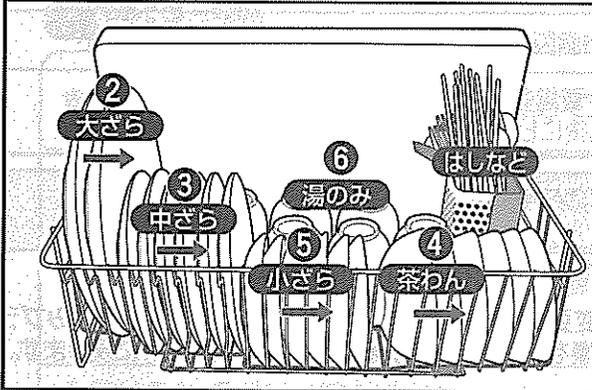
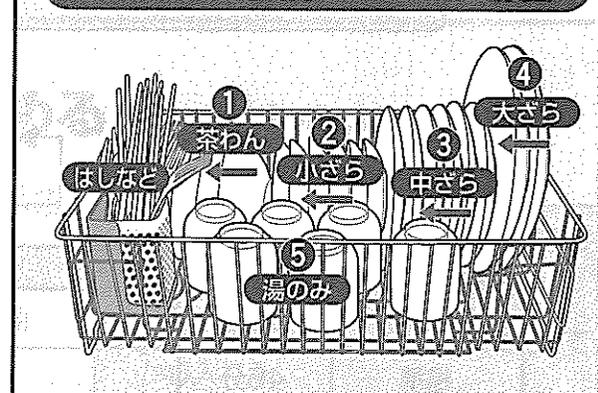
大ざら（19〜24cm）	2枚	湯のみ（コップ）	6個
中ざら（16〜19cm）	6枚	はし・スプーン・フォークなど	6人分
小ざら（12cm以下）	6枚	まな板 （最大 幅25×長さ42×厚さ3cm）	1枚
茶わん	6個		
汁わん	6個		

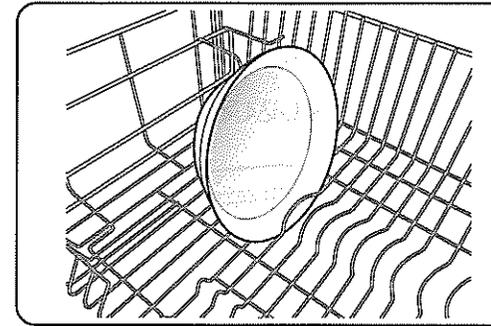
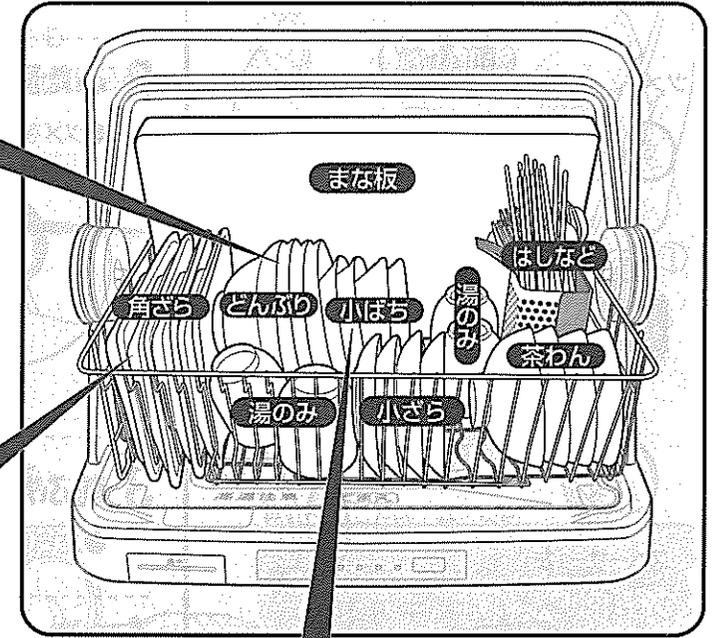
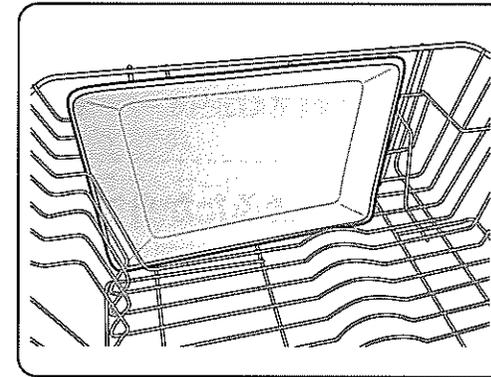
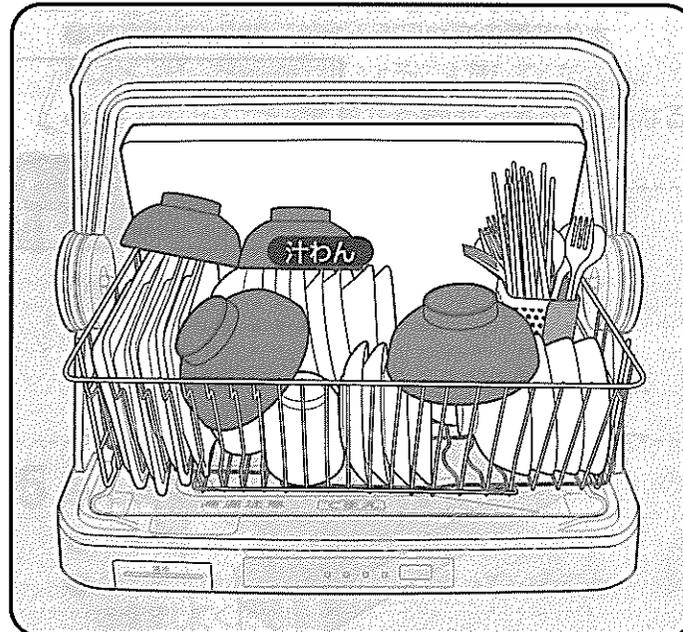
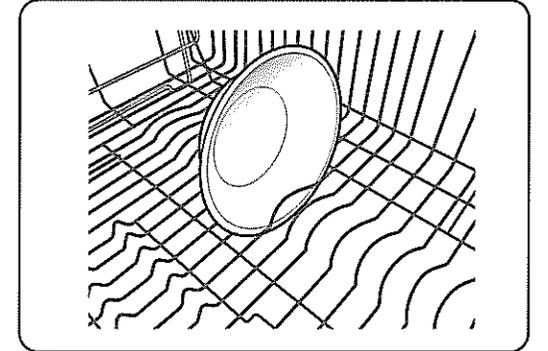
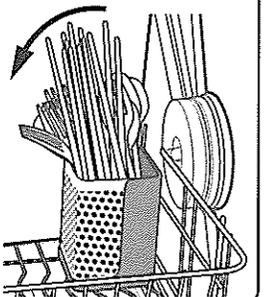
●食器の内面を矢印の方向に向けて並べてください。
●まな板は必ず図の位置に入れてください。（変形・変色の原因）
●食器の形状によっては、立てて置けないものもあります。

まな板を奥に入れる場合

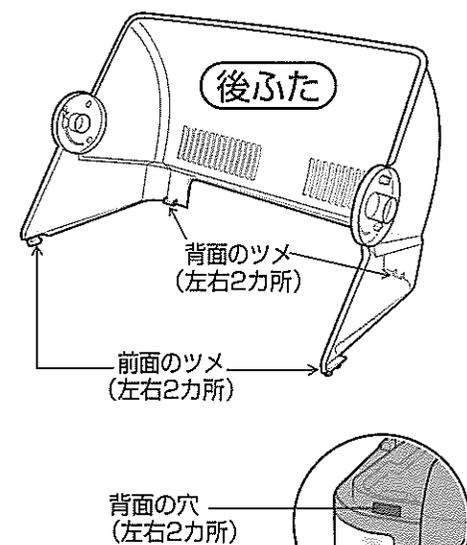
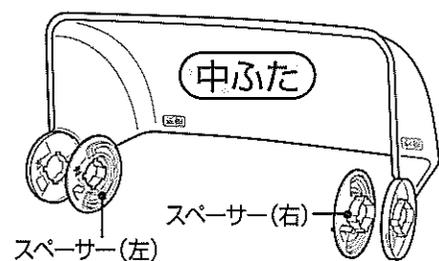
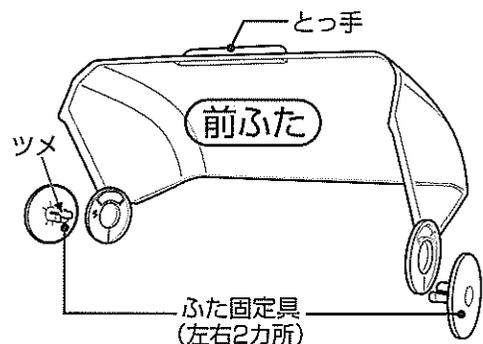
①まな板

②大ざら ③中ざら ④茶わん ⑤小ざら ⑥湯のみ はしなど

⑦汁わん

まな板を手前に入れる場合

その他の形状の食器の入れ方

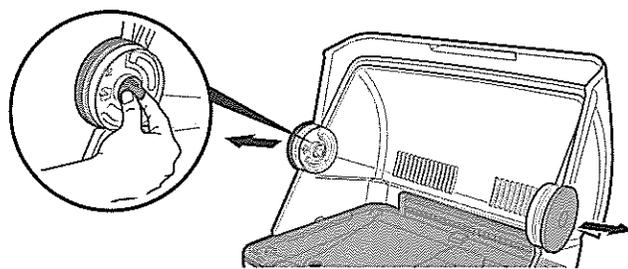
★どんぶり、中ばちなどの深めの食器

★角ざらなどの食器

★小ばちなどの食器

●小物はふたセット開閉時に当たらないように内側に倒して入れてください。

ふたセットの分解/組み立て方法

●ふたセットの分解/組み立て時は、落としたり、かたいものにぶつけたりしないよう注意してください。

部品のなまえ

ふたセットの分解方法

1 食器かご・トレーを取り出す

2 ふた固定具をはずす

●ツメをつまんで、穴(外側)へ押し込むとはずれます。

3 前ふたを中ふたからはずす

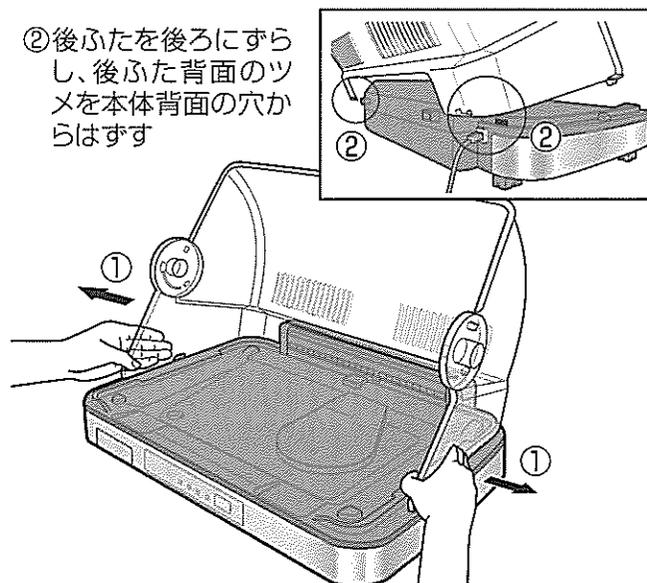
●左右に少し広げながらはずしてください。

4 中ふた(スペーサー含む)を後ふたからはずす

●左右に少し広げながらはずしてください。
●中ふたと一緒にスペーサーもはずしてください。

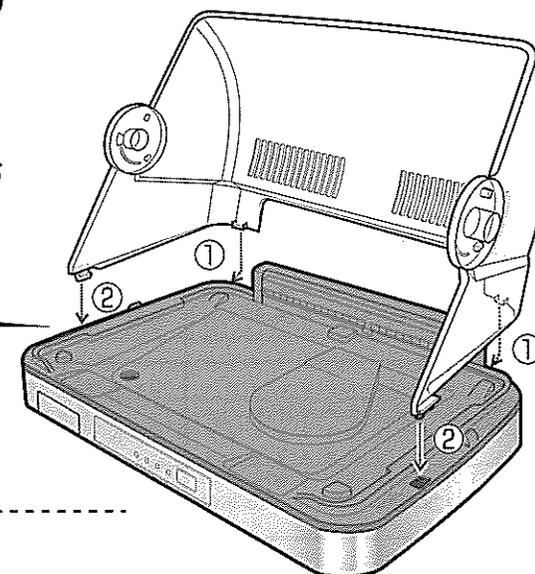
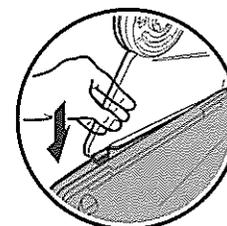
5 後ふたを本体からはずす

①後ふたの手前下部を両側に押し広げながら持ち上げ、本体前面の穴から後ふた前面のツメをはずす

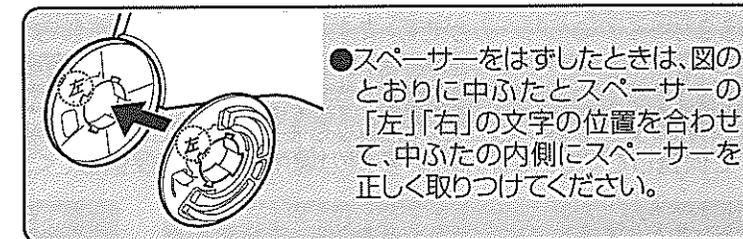
②後ふたを後ろにずらし、後ふた背面のツメを本体背面の穴からはずす

ふたセットの組み立て方法

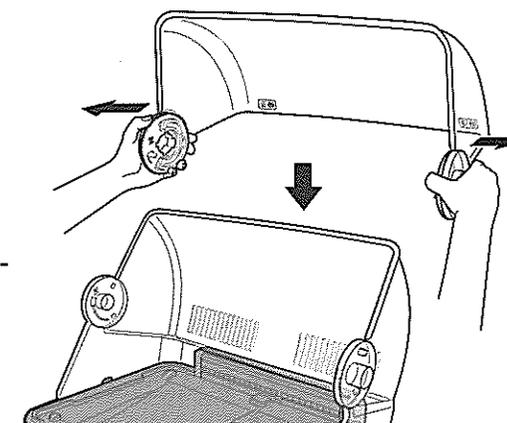
1 本体に後ふたを取りつける

①後ふた背面のツメを本体背面の穴に差し込む
②後ふた前面のツメを本体前面の穴に上から差し込む

●カチッとなるまで確実に差し込んでください。

2 中ふたにスペーサーを取りつける

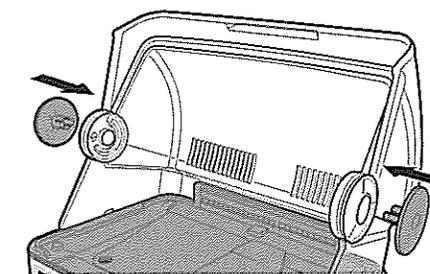
●スペーサーには左右の方向性があります。
(スペーサーに「左」と示されている方は左、「右」と示されている方は右に取りつけてください。)

●スペーサーをはずしたときは、図のとおりに中ふたとスペーサーの「左」「右」の文字の位置を合わせて、中ふたの内側にスペーサーを正しく取りつけてください。

3 中ふたを取りつける

●左右に少し広げながら取りつけてください。
●スペーサーがはずれないように注意してください。
●「左」「右」の文字の位置を合わせて、後ふたと重なるように確実に取りつけてください。

4 前ふたを取りつける

●前ふたをとりつけるときは、前ふたのとっ手を手前にして取りつけてください。
●「左」「右」の文字の位置を合わせて、確実に取りつけてください。

5 ふた固定具を取りつける

●「カチッ」となるまで確実に取りつけてください。
●ふた固定具のツメが確実にはまっていることを確認してください。

お手入れ

差込みプラグをコンセントから抜き、温風吹出口が冷めてからお手入れしてください。

食器かご・ふたセット 水受け・はし立て・トレー フィルターカバー	スポンジで水洗いし、乾いた柔らかい布で水気をふき取る ●水アカなどにより汚れやすいので、こまめにお手入れしてください。
本体	①湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固くしぼり汚れをふき取る ②固くしぼった布でふく ③乾いた柔らかい布で水気をふき取る
コード・差込みプラグ	乾いた柔らかい布で汚れをふき取る
排水ホース	台所用中性洗剤を入れたぬるま湯に浸けて洗い、よく乾燥させる ●水アカなどにより汚れやすいので、こまめにお手入れしてください。
フィルター	掃除機の細いノズルで汚れを吸い取る

●操作部や温風吹出口に**直接水をかけたり、丸洗いは絶対にしない**でください。感電や故障の原因になります。
●シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし類（ナイロン・金属製など）・台所用中性洗剤以外の洗剤・漂白剤などは使わないでください。また化学ぞうきんを使用する場合は、強くふいたり長時間触れさせたりしないでください。表面を傷つけたり、化学変化をおこしたりする原因になります。
●長期間使用しないときは、各部のお手入れをしたあと、十分に乾燥させポリ袋に入れてから箱に入れて保管してください。（高温・多湿の場所はさけて保管してください。）

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、一度お調べください。

こんなときは	お調べいただくこと	直し方
乾燥状態が悪い	食器を入れる間隔がつまっていませんか?	間隔を少しあけて入れてください。
	食器を入れすぎていませんか？	食器を減らしてください。
	排気口がふさがっていませんか？	ふさいでいるものを取り除いてください。
	フィルターが汚れていませんか？	お手入れをしてください。
トレーに水がたまる	平らな場所に設置されていますか?	平らな場所に設置してください。
水もれする	水受けの水をすてていますか？	こまめに水受けの水をすててください。
	排水ホースがはずれていませんか?	排水ホースを正しく取りつけてください。
	水受け栓の取りつけ位置が間違っていませんか？	水受け栓を正しく取りつけてください。

仕　様

型名	EY-SA60
電源	交流100V　50/60Hz
消費電力	330W
温度ヒューズ	192℃
コードの長さ	1.8m
外形寸法(約cm)	幅52×奥行41.5×高さ41
質量(約kg)	5.9

●この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC 100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary. After sales-service for this appliance is not available outside of Japan.

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3. 修理をお申しつけされるとき

≪保証期間中≫
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

≪保証期間を経過しているとき≫
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後5年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
■お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。
ご転居やご贈答などでお困りの場合、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ホームページのご案内
部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ
http://www.zojirushi-de-shopping.com/

お客様ご相談センター　ナビダイヤル 0570-011874　市内通話料金でご利用いただけます
受付時間　9:00～17:00　月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
●携帯電話・PHS・IP電話など(ナビダイヤルが利用できない電話)でのお問い合わせ……………… Tel (06)6356-2451
●ファクシミリでのお問い合わせ……… Fax (06)6356-6143
製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。
〒530-0043　大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承願います。